

知るぽるとホームページのトップページ



小学生向け「コンテンツ」

お金について知りたいときや調べたいとき、皆さんだったら、子どもたちにもどんな方法をすすめますか？どこから取り組んでよいか分からない、「通り学習させたい」といったときにおすすめなのが「おかげのね」です。皆さんも子どもたちと一緒に、クイズに挑戦したり、ワークをやってみたいしてみませんか？

「おかげのね」は、小学生とその保護者を対象に製作されたコンテンツです。家庭において親子で楽しく学べるように製

みんなで楽しく

おかげのね

このコーナーでは、毎回、金融広報中央委員会の最新の取り組みや活動内容を紹介してまいります。
今回は、平成20年3月に知るぽるとホームページにアップされた「おかげのね」をご紹介します。

アクセスしてみよう

知るぽるとホームページのトップページにある入り口から親子で一緒にアクセスしてみましょ。

作しました。
取り上げている68のテーマは、金融教育プログラムの年齢階層別の金融教育内容に示されたものですから、小学生が学ぶべき内容が網羅されています。

学ぼうとする子どもの年齢に応じて、

小学校1・2年生、3・4年生、5・6年生の3つの入り口から選んで入りましょ。
年齢段階が高くなると内容が高度化し、多少複雑になりますので、やさしく感じられるレベルからチャレンジするのもよいでしょう。

入り口のおかげ師匠は、子どもが学んでいる間、「がんばろう」とか「もう少し」、「よし！ いいぞー！」と励ましたり、応援したりしてくれま。



おかげのね入り口

このコンテンツは、実際に子どもたちにお金について教えている全国各地の金融広報アドバイザーが執筆を担当したほか、池上彰氏(ジャーナリスト、元NHK通判)とモリス(キヤスター)や現役の小学校教諭、金融教育の専門家の方々が監修しています。



学年を選んだ後の道場の入り口



4コマまんが



子ども向けページ

4つの道場

「おかねのね」には、「おかねのつかい方」「おかねのやくわり」「おかねとくらひ」「おかねとしごと」の4つの道場があります。まずは一つ選んで始めてみましょう。

「おかねのつかい方道場」では、物やお金を大切にすることやほしい物と必要な物の違いを考えること、お年玉やおこづかいの使い方や管理の方法など、家計管理や生活設計に関するテーマが取り上げられています。「おかねのやくわり道場」では、お金の交換機能・価値尺度機能・価値保存機能・景気変動や経済活動について学ぶことで経済・金融の仕組みを理解することが出来ます。また、「おかねとくらひ道場」では、消費生活・金融トラブル防止に関するテーマを扱い、商品選択上の留意点のほかに日常生活において直面するトラブルや困ることなどの

各テーマの始まりはまんが

道場に入ったら、興味や関心のあるテーマから選ぶことが出来ます。それぞれのテーマは、4コマまんがと子ども向けページ、大人向けの解説ページの3点セットとなっています(4コマまんがは音声化ソフトにも対応しています。裏表紙でも紹介していますので、ご参照ください)。親子で話し合いながら、楽しく読み進めていきましょう。

子ども向けページのクイズの解説が大人向けページに掲載されていたり、ワークを行う上での考え方や子どもに伝えたい

ことが大人向けページに解説されているという構成となっていますので、両方のページを自由に行き来しつつ、内容をしっかりと把握していきましょう。大人向けのページには、一口コラムや関連リンク先も表示されていますので、発展的な学習にも役立ちます。

一つのテーマを学び終わったら、ハンコを押しましょう。学んだところは、各道場のハンコボードにハンコが表示されます。子どもは子どもの、大人は大人のハンコを集めていきましょう。全部集めると、特別プレゼントをもらうことが出来ます。

さあ、あなたも今すぐ、アクセスしてみませんか？



集めるハンコ (左が子ども、右が大人)